

【壮行式・出雲市陸上大会】

出雲市陸上大会に向け全校が集まり陸上大会の壮行式を行いました。壮行式でリーダーとなるのは4年生です。事前に各学級を回り応援の仕方を伝えたり練習したりしました。応援リーダーは元気よく大きな声と動きで応援をリードし、司会やあいさつ担当の児童は言葉を覚えて堂々と伝えました。1年生から4年生で精一杯のエールを送ることができました。その姿を見ていた3年生もきっと来年素敵な応援をリードしてくれることでしょう。

陸上大会は一日延期になりましたが晴天の中で開催されました。朝からしっかりとアップして気持ちを高めて浜山陸上競技場に到着しました。すべての児童が運動を得意としているわけではありません。ですが練習から一生懸命に練習に取り組み、みんなで励まし合って本番を迎えました。大きな陸上競技場に一步踏み入れ、わくわくドキドキを思いっきり体験したことでしょう。自分の持てる力を精一杯発揮しようとする子どもたちは輝き、見ているものの心を打ちます。やはり子どもたちはすてきだなと実感します。

【田植え2年生】

5月10日に2年生が乙立コミセンの皆さんや高齢者クラブの皆さんの協力のもと田植えを実施しました。まず植え方を教えていただき、一つの苗からたくさんのお米がとれることや秋には苗が子どもたちの手では握れないほど太くなることなど教えていただきました。子どもたちは田んぼに足を踏み入れた感触や植える感触を楽しみながら線に沿ってきれいに植えることができました。秋には稲刈りに行く予定です。

【なかよし班顔合わせの会】

なかよし班は幼稚園から6年生までを6つに分けたたて割り班です。5月28日に5、6年生が中心となって班のみんなが仲良くなる「顔合わせの会」が開かれました。幼稚園児も含めたたて割り班がある学校は珍しいのではないのでしょうか。みなみ小学校、朝山幼稚園ならではの学びの場のように思います。まず自己紹介をした後、風船バレーやじゃんけんリレーなどを楽しみました。初めは緊張気味だった子どもたちですが、すでに交流を行っている高学年たちがうまくリードしながら会の終わりには体育館中に元気な声が響いていました。

【修学旅行（6年生）～稗原小との合同学習～】

6年生は稗原小学校と合同で広島へ修学旅行に出かけました。1日目は、日本の中心産業である鉄工業の工場見学でそのスケールの大きさを感じたのち、みろくの里で笑顔いっぱい交流・友情を深めました。2日目は平和について自分事として深く考え、平和の大切さを実感しました。宮島でのお買い物もしっかり楽しみました。ねらいは「○平和の大切さについて考える○集団生活でのマナーを学ぶ○他の学校の友達と仲良くなる」の三つですがそのねらいを十分に達成できた修学旅行となりました。

【宿泊体験学習（5年生）】

5年生は県立少年自然の家で宿泊体験学習を行いました。学校でもきまりを守ることや力を合わせ仲良く生活することなどの学びを積み重ねてきていますが、ここまで長い時間ともに生活することは初めての体験です。普段とは違う場所で様々な活動を通して存分に楽しさを見つけながら協力して活動する姿に頼もしさを感じました。

来年度は稗原小学校との合同での活動を計画し、中学校区の仲間として交流を深めたいと考えています。

【幼稚園交流活動 OHA ふれんず/誕生会/まめな教室】

朝山幼稚園では多くの交流活動を行っています。いろいろな出会いを通して多様な刺激を受けモデルにしたり、新たな興味・関心を持ったりする経験ができます。また、自分たちがしたこと人々に喜んでもらえることを実感し、次への意欲や人に何かをしてあげたいという思いにつながっています。

①つたち②えばら③さやまの頭文字をとった「OHA ふれんず」は普段会わない友だちと交流することで主体性や社会性を育みたいというねらいで20年くらい前から続いている活動です。今回は稗原幼稚園の子どもたちが来てくれました。いつもよりたくさんになった友だちと砂場で遊んだり、お弁当を食べたりし名前を呼び合うようになりました。

誕生会では小学生が幼稚園を訪れ自分たちで考えたゲームや遊びを一緒にしています。5月は3年生が風船バレーやはないちもんめ、クイズをして楽しみました。

まめな教室のおじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらいたいと歌を歌ったり、踊ったりしました。温かいまなざしや雰囲気の中でのびのびと自分を出し、たくさんの拍手を受け、喜びや自信を持つことができました。

【幼児教育と小学校がつながるってどういうこと？】

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。幼児教育においては遊びを通して小学校以降の学びの芽生えを培い、小学校ではその学びの芽生えをさらに伸ばしていきます。

一見すると異なるように見える幼児教育と小学校教育。しかし、その考え方には連続性・一貫性があり、幼児期と児童期の子どもの発達や学びはつながっているのです。

遊びを通した学び

幼児期は幼児が自発的・主体的に人やものに関わりながら、遊びを通して必要な能力や態度などを獲得していく時期です。そのため、幼児教育では幼児の「遊びを通した学び」を大切にしています。ただ、自由に遊ばせるのではなく、一人一人が自ら興味や関心をもって、遊びに夢中になる中で試行錯誤しながら、様々な経験を重ねていくことを大切にしています。こうした幼児教育を通して育まれた幼児の資質・能力は、その後の小学校以降の生活や学習における基盤となっています。

※参照「文部科学省 HP 幼児教育 遊びを通した学び」より

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の2種類に分けられます。「認知能力」とは、IQ（知能指数）に代表されるような、点数などで数値化できる知的能力のことです。一方「非認知能力」とは、認知能力以外の能力を広く示す言葉で、具体的には「目標に向かってがんばる力」「感情のコントロール力」「人とうまく関わる力」といったようなテストなどで数値化することが難しい内面的なスキルを指します。近年、この非認知能力が人生を豊かにするうえでとても大切な資質・能力だと注目されています。朝山幼稚園、みなみ小学校でもこうした資質・能力をのばしていくことを学びづくりの柱としていきます。とくに

以下のような資質・能力の育成を子どもたちの発達段階に応じてめざしていきたいと考えます。

育みたい 資質・能力	幼稚園・小学校（下学年） ⇒ 小学校（上学年）
自立心（主体性）	自分のやりたいことを見つける ⇒ 目標を立て、根気強取り組む
自立心（計画力）	やりたいことに向かって挑戦する ⇒ 目標実現のための方法手順を工夫する
課題発見力	いろいろなことに興味を持つ ⇒ 目的や課題を見つける
創造力	考えたり工夫したりする ⇒ 新しい考えや方法を求め工夫する
協同性	協力して楽しく遊ぶ ⇒ 共通の目的に向けて充実感をもってやりとげる
実行力	あきらめずにやってみる ⇒ ねばり強く行動する
伝え合う力	楽しく話す、注意して聞く ⇒ 自分の考えや思いを伝え合える